

ソーシャルワーカーデー 2021 in愛媛 に寄せて

～ これからのソーシャルワークを担う全ての人へ ～

一般社団法人愛媛県社会福祉士会は、ソーシャルワークの専門職として国家資格化された社会福祉士を会員とした職能団体です。本会は社会福祉士の倫理を確立し、専門的スキルを研鑽し、社会福祉士の資質と社会的地位の向上に努めるとともに、社会福祉の援助を必要とする愛媛県民の生活と権利の擁護及び社会福祉の増進に寄与することを目的に活動しています。

県内のソーシャルワーカー三団体(一般社団法人愛媛県精神保健福祉士会、愛媛県医療ソーシャルワーカー協会、本会)が協働して実施する「ソーシャルワーカーデー2021in 愛媛」は、「つなげよう ひろげよう ソーシャルワーカーのWA」と題し、未だ収束が見通せない新型コロナウイルス感染症により、人との接触を極力避けることが社会的に要請される状況下で、現役および未来のソーシャルワーカー相互がつながり、交流することを SNS を通じて支援する内容となっています。

人と人、人と社会が近づくと感染拡大につながります。一方、私たちソーシャルワーカーは人と人、人と社会を近づけることで、個人の生活の困りごととそれを生み出す社会の諸問題の解決を図ってきたとも言えます。クライアントの生活と権利を護る立場でありながら、日々の実践が感染を拡大させる恐れがあるというジレンマに今、多くのソーシャルワーカーが悩んでいます。

次代のソーシャルワークを担う養成校の学生さんについても、授業はオンライン化が進み同年代の友人関係を築きにくく、加えてアルバイトの減少、保護者の経済状態悪化等に伴う学費・生活維持費支払い困難、社会の今後が見通せず、将来に不安を覚えるといった苦しみに直面していると耳目にします。

しかし、私たちがどんな困難に直面しようとも、クライアントのニーズは存在し続けています。むしろ、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない現在のような状況だからこそ、新たにソーシャルワークを必要とする人も生まれしており、私たちは知恵を絞りながら可能な連携のあり方を追求し、ソーシャルワークの質を高めて人々の生活の維持、QOLの拡大を支援していかなければなりません。今回の「ソーシャルワーカーデー2021in 愛媛」の取り組みは、新たなつながりを生むとともに、自分の軸を見つめ直す良いきっかけになるのではないのでしょうか。また、SNS の拡散力は、ソーシャルワーカーの存在の周知にも大いに役立つと期待しています。

現役のソーシャルワーカーも、これからソーシャルワーカーを目指す養成校の学生さんも、未来にソーシャルワークをつなぐため、しなやかに歩みを進めていこうではありませんか。ともに頑張っていきましょう。



一般社団法人愛媛県社会福祉士会
会長 米田 順哉